

読書グループ紹介

# 垂水の読み聞かせボランティアグループ

垂水市には、先ほどインタビューした『野いちご』以外にも読み聞かせボランティアを行っている読書グループが4つあります。各グループの活動内容やオススメ絵本をご紹介します。

## 垂水小学校読み聞かせボランティア『くすくす』



**代表コメント**  
坂本美保さん  
「本は自分の知識を広げます。子どもたちが『本を読もう』と思うきっかけの一つになれば嬉しいです」

■活動内容／毎週月曜、垂水小学校の朝読書で1年生へ読み聞かせを行う。年1回、『おはなしポケット』と共に垂水小学校と協和小学校で読書イベントも行う。  
■会員数／4人



『てん』  
作／ピーター・レイノルズ  
「お絵かきなんて大嫌い！」苦しみに描いたのは、小さな《てん》ひとつ。その《てん》にかくされた大きな意味を知り、主人公は変わり始める。水彩絵の具と紅茶で描く、美しい絵本です。

オススメ絵本

## 協和小学校親子読書『おはなしポケット』



**代表コメント**  
関恵さん  
「子どもたちに本の楽しさを届けます！コロナ禍で活動に変化がありましたが、次年度からはパワーアップしたいです！」

■活動内容／月1回、協和小学校で読み聞かせを行う。年1回、『くすくす』と共に協和小学校と垂水小学校で読書イベントも行う。  
■会員数／4人



『たいせつなこと』  
作／マーガレット・ワイス・ブラウン  
1949年にアメリカで出版されて以来、読みつがれてきた絵本です。「たいせつなこと」とはなにかを、やさしく詩的な文章で語りかけます。

オススメ絵本

## 水之上小学校『PTA研修部』



**代表コメント**  
堀之内まり子さん  
「読み聞かせの良さは、見守り続ける存在がいるという、安心感につながるのだと思います」

■活動内容／2か月に1回、水之上小学校の朝読書で読み聞かせを行う。夏休み中に『親子読書会』を開催。  
■会員数／7人



『ねこはるすばん』  
作／町田 尚子  
にんげん、でかけていった。ねこは、るすばん。と思いきや…？猫だってカフェに行くし、身だしなみを整える。あなたの知らない猫の世界。

オススメ絵本

## 新城小学校『読み聞かせ教室』



**代表コメント**  
上田 正輝さん  
「子どもたちが少しでも本に親しんでくれればと思っています。いろいろなことに興味をもって来て、楽しいです」

■活動内容／月1回、新城小学校で読み聞かせを行う。上田さんが読み聞かせした絵本等を同小学校に寄贈。  
■会員数／5人



『もうじきたべられるぼく』  
作／はせがわ ゆずお  
号泣必至。TikTokの読み聞かせ動画が300万回再生された泣ける話、待望の書籍化。「たべられること」を受け入れたぼくが、さいごにしたかったことは。食育にもおすすめの1冊です。

オススメ絵本

INTERVIEW



## 図書館ボランティアおはなしサークル『野いちご』



■活動内容／図書館でのおはなしシアターや、図書館見学会でのおはなしを提供。市内の小学校を訪れて、おはなし会のボランティア活動も行う。  
■会員数／4人  
■代表代理／持留 くるみさん  
野いちごイチオシ！絵本選び本『お母さんが選んだ128冊の絵本』編／棚橋美代子、絵本100選の会



# 絵本×読み聞かせ

いんたびゅー②

一人でも楽しめる絵本ですが、人の声に加わると、より物語が心に沁みていきます。人の声を通して言葉に命を吹き込む、そんな読み聞かせボランティアをされている団体『野いちご』に絵本と読み聞かせのお話を伺いました。

### Q 読み聞かせの魅力は？

子どもたちがよく耳を傾けて、きらきらと目を輝かせながら夢中で聞いてくれます。嬉しくて、一度体験したらやめられないです。

### Q 読み聞かせポイントを教えてください！

親子の場合、読み聞かせは「あなたが好きよ」というのが伝わるコミュニケーションの一つです。このため、何回も同じ本を持ってきても読んであげることが大切です。子どもは毎回「自分が思っていたことがちゃんと出てきた！」と自己肯定感を

### Q 読み聞かせの魅力とは？

が育つとも言われています。また、読み手が読みたい本も用意しておくことも大事です。さりげなくオススメしてみたいかがでしょうか。保育園・幼稚園、学校の先生の場合は、子どもたちに読んであげたい本を読むことが一番大事で、そのような機会をたくさん持ってあげてほしいです。

### Q オススメの絵本は？

『ちいさいおうち』（右下参照）です。現代は、古くなったら何でも捨ててしまいがちですが、いろいろ大切なことがあるんだよと、教えてくれる絵本かと思っています。

### Q ズバリ、絵本の魅力とは？

絵本を読んで、その時は「面白かった」で終わっても、後からじわあ〜と気付くことがあります。心のどこかに昔読んだ絵本は残っていると思います。だから、その場で感想を尋ねるよりも、絵本を読んで心のひだをたくさん作ってほしいなと思います。読み聞かせをしています。そして絵本は世界共通です。『はらへこあおむし』と



『ちいさいおうち』  
作／バーバリア・リー・パートン  
静かな田舎に建っているちいさいおうちは、まわりに工場ができ、にぎやかな町になるにつれ、花の咲きみだれる田舎の景色をなつかしく思うのでした。

「読み聞かせボランティアをしてみたいかも…」という方は、社会教育課社会教育係まで！ ☎ 0994-32-0224